

# 森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～

森林科学、環境学、持続可能性

国立大学法人

東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属北海道演習林

会期：2011年7月27日（水）12:20～7月29日（金）12:00 2泊3日

日本の国土の約7割は森林です。森林は皆さんにとって身近な存在でしょうか？

森林には様々な働き（機能）があります。生活のあらゆる場面で使われる木材を供給するほか、生態系を形作って多種多様な生物を育む、二酸化炭素を吸収する、大気を浄化する、土砂災害を防ぐ、水源を涵養する、などその働きは実に多岐にわたります。私たちは森林から有形・無形の恩恵を受けており、森林は私たちの暮らしにとって無くてはならないものなのです。

今、あらゆる分野で「持続可能な未来」が重要な課題となっています。森林を利用し、その資源を享受し、働きを最大限に発揮させることが私たちには必要です。それでは森林に持続可能な未来はあるのでしょうか？—その一つの答えがここにあります。北海道の豊かな森の中に身を投じ、森林を肌で感じ、そしてその森林を利用しながら未来にわたって持続させる術を学び、より豊かな森林を次代に引き継ぐ方策を一緒に考えてみませんか？



## 会場

東京大学 北海道演習林  
北海道富良野市字麓郷市街地1  
(JR根室本線「富良野」駅より車30分。  
JR「富良野」駅へは、「旭川空港」よりバス1時間、  
またはJR「札幌」駅より鉄道またはバス約2時間半。)  
URL：<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/hokuen/>  
宿泊場所：北海道演習林セミナーハウス

## 募集人数

20名

## キャンプのプログラム内容（予定）

**(1) 北海道の樹木と原生的な森林の観察**  
さまざまな森林のタイプと日本の森林の概要、そして北海道の森林や樹木について、講義と実体験をもとに、主に植生学・生態学的な観点から学びます。さらに、原生状態の森林の姿や特徴について、林内散策の中で観察します。

**(2) 森林の植生調査と資源量の測定**  
環境や場所による森林の違いを、主に構造面から把握してその特徴を記録するため、いくつかの森林で簡易な植生調査を行います。同時に、森林の資源量を測定します。これらを通じて、森林の複雑性と不均質性について学びます。

**(3) 「林分施業法」の体験**  
構造や資源量の異なるいくつかの森林で、それぞれの取り扱いについて考えます。北海道演習林で考究している持続的な森林管理法である「林分施業法」を紹介するとともに、この方法に基づく森林の区分や収穫木の選定に挑戦してもらい、実際の技術者の区分・選定結果と比較します。

**(4) 持続的な森林の取り扱い方の考察**  
これまでの一連の体験結果をもとに、持続的な森林の取り扱い方について考察します。

## スケジュール（予定）

### 1日目 7月27日（水）

12:20～12:50 JR富良野駅集合  
13:20～14:00 開講式・オリエンテーション・自己紹介  
14:30～15:30 実習「北海道の樹木と原生的な森林の観察」  
16:20～17:00 講義「北海道の森林の成り立ち」  
17:30～18:30 夕食  
19:00～19:40 講義「森林の動態と持続的な管理」

### 2日目 7月28日（木）

7:00～ 8:00 朝食  
9:00～12:00 実習「森林の構造と資源量の調査」  
12:00～13:00 昼食  
13:00～16:00 実習「森林の区分と収穫木の選定」  
17:30～19:00 夕食・交流会

### 3日目 7月29日（金）

7:00～ 8:00 朝食  
9:00～10:00 発表準備（グループワーク）  
10:00～11:00 発表・討論  
11:00～11:30 閉講式  
12:00 JR富良野駅で解散

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

